



額に向け体制強化を図ってまいります。

市税徴収につきましては、「納めやすい環境づくり」の充実や納期内納付への広報活動と「幅広い滞納整理手続きなど」により、更なる自主財源の確保に努めてまいります。

入札制度改革につきましては、近年の入札不調・不落への対応と中長期的な担い手の育成及び確保等、発注関係事務の適切かつ効率的な運用を図るため、競争性及び公平・公正な入札の実施に向け、要綱等を整備してまいります。

民間委託につきましては、「民間に委ねることができるものは民間に委ねる」という原則のもと、指定管理者制度の推進および民間委託可能な業務についての洗い出しを引き続き実施してまいります。

職員の人材育成につきましては、人事評価制度の評価結果を活用し、職員の「やる気・意欲」を引き出せる研修メニューを引き続き開発し、多様化する行政需要に対応してまいります。また、職員の定員管理につきましては、限りある定員数を各課の実情に応じて適正に行ってまいります。

## 8. 予算編成と予算規模

平成30年度当初予算編成にあたりましては、第4次石垣市総合計画後期基本計画及び実施計画に基づき、限られた予算で最大の効果を発揮し、地域における各種課題を解決することにより「日本一幸せあふれるまち石垣市」を推進する予算編成を行いました。

特徴としましては、引き続き待機児童問題の解消を図る施策や子供の貧困対策、ひとり親家庭の生活を支援する新たな施策、障がい者福祉

施策など、社会福祉の更なる充実を図るための予算を確保しました。

福祉避難所兼ふれあい交流施設及び新市役所庁舎建設につきましては、平成30年度より本体工事に着手します。その財源として国の交付金と交付税措置を受けることのできる優位な起債を活用することにより、一般財源負担の軽減を図りながら取り組んでまいります。

歳入におきましては、自主財源の柱である市税が市内経済の活況を受け、平成29年度より9千万円の増額を見込んでおります。また、歳入の柱となる地方交付税が平成29年度より約1億8千万円の減額となる見込みとなっております。基金からの繰入金など、旺盛な財政需要に対応しております。

平成30年度は、一般会計が総額304億5,600万円で、平成29年度当初比10.3%の増と過去最高額となっております。主な内訳としましては、総務費69億7,375万5千円、民生費116億7,212万8千円、衛生費19億806万8千円、農林水産業費16億8,510万3千円、商工費4億5,123万2千円、土木費26億8,892万2千円、消防費5億4,473万円、教育費22億2,578万5千円となっております。

特別会計は、総額174億9,017万8千円で、平成29年度当初比6.0%の減となっております。

## むすびに

以上、平成30年度の市政運営に関し、私のまちづくりの基本的な姿勢と主な施策について述べさせていただきます。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、各地で着々と準備がされていきます。国際交流拠点都市を目指す本市にとっても、本市の魅力を生かして発信する絶好の機会として、八重山から「聖火リレー」が行われるよう関係機関に働きかけてまいります。

改めまして、平成30年度は、私にとつて、市長3期目の新たなスタートの年であります。私は、「日本一幸せあふれるまち石垣市」の実現を目指し、南（ぱい）ぬ島石垣空港滑走路延長や石垣港クルーズ船岸壁の整備など、「国際観光都市」としての確固たる地位を築き上げるため、受入基盤強化に向け取り組んでまいります。また、「平成の再開拓」として、北部・西部地域の活性化を図るため、定住条件の向上や産業振興を強力に推進してまいります。さらに、沖縄本島に通院する難病患者やその家族、文化活動やスポーツ大会等の児童派遣にかかる経済的負担の軽減を図るとともに、在沖郷友会の活動拠点となる「八重山会館」の整備に向け、竹富町、与那国町と連携し取り組んでまいります。今回、皆様にお約束したマニフェストの全ての実現にむけ、職員と共に、全身全霊で市政運営に取り組んでまいります。

最後に、議員各位を始め市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成30年度の施政方針とさせていただきます。